

HEMSと情報分電盤との通信復旧手順（電源オフ／オン）

HEMS情報測定装置の電源をオンとし起動後に情報分電盤の電源のオフ／オンを実施し通信確認を実施して下さい。
※情報分電盤は、HEMSが起動後でないと通信確認できない仕様となっているためです。

手順

1. HEMS情報収集装置の電源をオンとし、ルータに接続する。
2. 情報分電盤のLANケーブルがHEMSと同じルータにLAN接続されている事を確認する。
3. 情報分電盤の蓋をあけ情報分電盤の通信モジュールの電源のオフオンを実行する。
 - ・分岐ブレーカの2番と4番を一度オフとしから再度オンとする。
 - ※これにより、情報分電盤がルータからIPアドレスを取得します。（LANケーブルの抜き差しでも同様です）
4. 情報分電盤がIPアドレスを取得すると、情報分電盤からHEMSを検索し、HEMSとのLAN接続が確立されると、情報分電盤の通信モジュールの表示パネルに「Cn」が表示され、HEMSと情報分電盤の通信確認は終了です。
 - ※「Cn」の表示時間は、電源をオンとしてから5分間です。
5. 上記でのHEMS側で電力量を表示しない場合は、各拠点の[お客様センター](#)までご相談ください。

※重要1：通信モジュールの電源オフ／オンの前に、HEMSの電源をオンとし起動完了する事（電源オンから約1分で起動完了）
情報分電盤がHEMSを検索するキーは、IPアドレスを取得した直後のみの為、
HEMS起動前に情報分電盤の電源をオンとしてもLAN接続できません。

